

関東甲信越支部長活動報告

2010年10月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

10月は上旬にJIA九州大会、下旬にアーキテツ・ガーデンとイベントが目白押しでした。JIA九州大会には、賛助会員まで入れると関東甲信越支部から約140人の参加で多くの関東甲信越支部会員に参加して頂きました。UIA東京大会まであと300日余りとなりました。10月20日にはUIA東京大会のウェブサイトがリニューアルし、また世界中から24時間閲覧できる「万人の建築家展」のサイトもオープンしました。ウェブサイトへの作品登録は無料です。せっかくの機会ですから、JIA会員は全員参加しましょう。<http://www.10000architects.com/>

支部長活動報告

- 1日 UIFA大会が韓国ソウルで開催され、UIFA JapanのパネルにJIA関東甲信越支部の活動や、UIA東京大会のアピールも掲載して頂いた。九州大会への馬淵大臣不参加を受けて、芦原会長を交え支部企画WGを開く。
- 4日 資格制度細則WGが開かれる。資格制度を巡る建築士会連合会との話し合いが活発に行われている事が説明された。登録建築家更新者の必要CPD単位取得について、一級建築士講習の実績をCPD単位に追加認定する案が話し合われた。
- 6日 JOB部会長会議が開かれた。基調講演が6から4に削減され、アーキテツプレゼンテーションが6から5に、テーマセッションが6から5に削減される。UIA大会のウェブサイトが10月20日にリニューアルされる。メルマガを海外にも発信する。11月24日にUIAシンポジウムが日経ホールで予定され、日経新聞に6面記事となる予定。
- 7日 JIA北九州大会、理事懇談会が開かれる。来年のJIA大会はUIA東京大会に専念するため、開催しないことが確認された。JOBとJIAの会計統合が必要なことや、UIAへのUIA東京大会報告義務はJIAが担っていることなど、UIAの日本支部であるJIAの責任について確認された。登録建築家CPD単位取得について一級建築士講習による追加単位認定について話し合われた。来年2月にキャッシュフローが赤になるなど厳しい財務状況について報告があった。UIA大会推進特別会議が開かれる。参加登録が最重要であ

- ることが確認され、登録WGを中心に全支部で動くことが確認された。
- 8日 朝からFIKA-JIA韓日国際会議が開かれた。KIA(建築家協会)とKIRA(建築士会)では2年前にFIKAとして文化的、建設的統合が行われた。韓国では土法によって継続教育が義務化され、AIAと相互認証されている。2017年UIA大会をソウル市に誘致活動をしている。来年のUIA東京大会ではソウル市長が自ら説明に来る予定。建築の文化性、公共性を法的に守るのが韓国の建築基本法。建築物は結果の産物であり、この基本法に都市、通信など建築関連分野を巻き込んだ形に改正する動きをしている。2011年UIA東京大会で日韓の絆を深めることをお互いに確認し、頼れる友人がいつも側にいる事を思っただけ、と韓国からUIA東京大会協力申し出を頂いた。ASA-JIA(王立シャム建築家協会：タイ王国)国際会議、ASAでは来年のUIA東京大会で王様の建築家展を開催予定で、王女様も来日予定。タイ国内での様々な広報協力を表明された。昼に臨時総会が開催された。第1号議案でJIAは公益社団法人に向けて作業を進めること、第2号議案で会費を9,000円値上げすること等が決議された。午後は式典が開催され、馬淵国土交通大臣からのメッセージが国土交通省住宅局課長井上勝徳様により読み上げられた。東京大学教授の姜尚中氏から基調講演を頂いた。夜は場所を変えてレセプションパーティーが開催され、大勢の参加者で賑わった。用意された600席は着席制であったため予約をしてこなかった大勢の会員があぶれる事態となってしまった。
- 9日 谷口吉生氏による講演が開催された。滅多に講演をなさらないが昨年25年賞を受賞され、受賞を記念しての講演で、会場は立ち見の聴衆が出る程の満席であった。午後は関東甲信越支部主催の職能連続シンポジウムが開催された。約180人の参加者があった。冒頭に、パネリストとして出席予定であった馬淵国土交通大臣からのビデオメッセージが放映された。UIA東京大会のテーマである40年先のみならず100年、200年先の日本を考えたインフラ行政を構築したい。建築基本法のロードマップを皆さんとも議論しながら作っていきたいという強いメッセージを頂いた。東京大学の神田順先生、韓国の李先生(KIRA副会長)、中国の趙先生(福岡大学准教授)、芦原JIA会長がコーディネーターとして出席するミニ国際会議となった。通訳を通して会話する問題や各国の制度状況による意見の折り合わせなど、国際会議ならではの問題点が体験できた。建築基本法や各国の建築関連法の運用実態の議論から建築家の責任について議論が進んだ。政治戦略、国際戦略を踏まえてUIA東京大会までにしたいというビジョン、ロードマップを示したい、という芦原会長の総括で締めくくった。
- 12日 資格制度委員会が開かれる。今まで登録建築家制度に参加した実務訓練生

- は64名にしか登らない。登録建築家制度は設計監理における統括的役割の最低限能力の明示であり、登録建築家は実務訓練生を見るためにいる事が再度指摘された。支部毎の実体を調査することにする。
- 15日 支部総務委員会が開かれる。支部組織再編会議が開かれる。今後の課題として、①財政、広報の共有化②公益法人移行に伴い委員会の活動内容を公益の観点からの組み立てが必要。
- 19日 組織再編会員種別WGが開かれる。定款で定められている会員種別と会員規則で定められているものの整理を、会としての制度改革戦略に則って進めていく。準会員など新しい会員種別についての議論もさることながら、JIA会員と登録建築家との位置づけを明確に示す必要がある。
- 20日 UIA大会支部推進委員会が開かれる。推進施策WGとツアーWGで議論、まとめを行う。
- 21日 新宿住友ホールでBCS(建築業協会)主催セミナー(講師：西沢立衛氏、他)が開かれ、約250名の聴衆が集まる。セミナーの終わりにUIA東京大会のアピールをさせて頂く。
- 22日 定款改定WGが開かれる。10月8日JIA九州大会で開かれた地域合同会議での意見を中心に地域会のあり方に対する整理が話される。資格制度と会員種別の摺り合わせが急務である。2011年度予算は新々会計基準となるため支部、地域会に対して早急に公益事業仕分け例を示す。
- 27日 アーキテクト・ガーデンが開幕する。建築家プレミアムオークションの出品作品をYahoo!オークションへのサイトアップ準備が大詰めとなる。
- 30日 新入会員の集いが開かれる。10名の新入会員が参加する。多くのU40(under 40)に積極的に参加して頂いた。夕刻からは都市デザイン部会による恒例の円卓セミナーが開催された。元国土交通省(現在は東京電力)の青木仁氏がセミナー講師として参加され、都市をデザインする建築家の役割に期待する強いメッセージを受けて、白熱した議論が交わされた。



支部長活動報告 2010年10月

2010年10月31日作成 上浪 寛

「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>